

南信濃 1500 委員会の概要と今年度の重点事業

1 活動のはじまりと当会の発足

南信濃まちづくり委員会では、人口減少や少子高齢化が著しく進行する中で、地区の基本構想を策定（2020 年）し、交流・関係人口の拡大を移住定住に結び付けていくための事業に取り組み始めています。そこで、地域の活性化の一翼を担うために 2018 年に発足した「和田宿にぎやかし隊」は、年間を通じて様々な事業に取り組んできていますが、この度、定期的に移住等を検討する組織として「南信濃 1500 委員会」を発足しました。

2 これまでの活動の歴史

- ・平成 30 年度発足・春・夏・秋の街道縁日、自磨の時間、和田の寺子屋、ICT（ペッパー）の学び
 - ・平成 31 年度（令和 1 年度）・ホームページ「ワダパゴス」立ち上げ、遠山の霜月祭、郁文館交流
 - ・令和 2 年度・アマビエ事業、南信濃 1500 委員会発足
 - ・令和 3 年度・長野県移住モデル地区申請・認定、お試し住宅
- ☞その他、さまざまな事業に挑戦してきました。また、南信濃 1500 委員会の構成・関係団体のみなさんの活動も多種多様です。コンパスハウス、遠山郷探検隊、エコ登山、遠山常民大学、ユネスコスクール……。

◇さあ！ 次のステップだ!! ⇒ 「やまざと親子留学」「遠山郷移住体験プログラム」の実施へ

3 南信濃 1500 委員会の目標と使命

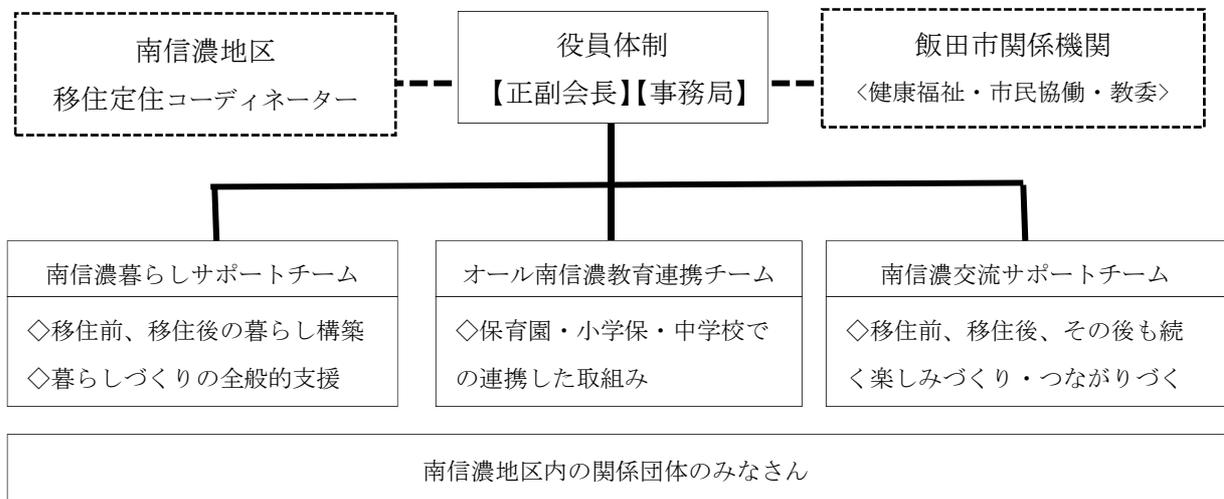
〈目標〉 持続可能な地域をめざす

〈キャッチフレーズ〉 教育・学校を通じた南信濃活性化 〈子どもは地域の宝・地域の未来〉

〈主な活動の柱〉 ・地域住民が将来にわたり安心して定住することができる環境づくり

- ・U、S、I ターンしやすい環境づくり
- ・遠山郷の魅力を発信する

〈南信濃 1500 委員会組織図〉



4 今年度の重点事業

(1)長野県移住モデル地区の認定

「長野県移住モデル地区」とは、地域住民と行政が一体となって積極的に移住者の受け込み支援を行う他の模範となる地区のことです。このたび、南信濃地区が、長野県で5番目（飯田市では初）となる認定を受けました。南信濃地区は、急激な人口減少と少子化が進行していますが、遠山郷への人の流れを呼び、移住定住へつなげるために、当会も取り組みを進めてまいります。

(2)やまざと親子留学事業 ・別冊パンフレット参照

(3)遠山郷移住体験プログラム

①プログラムの概要

- ・遠山郷の移住に興味のある方に、遠山郷の暮らし、人、教育環境を体験してもらうプログラム。
- ・まちづくり委員会と南信濃 1500 委員会が移住希望者の生活、仕事、教育、住居等の相談事のワンストップ窓口となり、体験プログラム時もメンバーがアテンド（人の世話や接待、案内）し、個人に合わせた手厚いフォローで移住実現の確度を高める。
- ・体験期間は、1泊2日から

②体験内容検討（案）

| 通年・有料 | 通年・無料 | 季節ごと |
|---|--|--|
| 遠山ジンギス BBQ、トレッキング、釣り（溪流・釣り堀）、そば打ち、狩猟肉解体体験、薪割り、リースづくり、ふじ糸織、郷土料理、草木染め 等 | 先輩移住者とのお話、農作業体験、草刈手伝い、登山道整備、木沢小掃除、保育園・学校見学 等 | 〈春〉山菜取り、タケノコ掘り、お茶摘み、梅取り、春の街道縁日 〈夏〉ブルーベリー狩り、ラフティング、沢登り、柚子胡椒作り、御射山祭り、 〈秋〉芋掘り、こんにゃく作り、キノコ採り、運動会、峠の綱引き、秋の街道縁日 〈冬〉柚子餅・干し柿・味噌づくり、遠山の霜月祭 |

③相談開始日・体験プログラムスタート 11月を目標に準備中目標

(4)学校見学会の開催について

- ・学校・保育園の見学会を、オンライン配信と現地での見学会の2回の開催を計画しております。
- ・見学会の内容は現在検討中ですが以下の内容を考えています。
 - 南信濃地区の紹介
 - やまざと親子留学事業の説明、特徴
 - こどもたちの活動などの動画等の放映
 - 在校生と一緒に授業体験
 - 参加者からの質疑・個別相談会 等

①オンライン見学会 10月16日（土）13:30～15:00、和田小学校からオンライン配信

②現地見学会・相談会 10月23日（土）8:30～12:00、和田保育園及び和田小学校